

「阿久根市学校施設等長寿命化計画（案）」についての意見と阿久根市の考え方

○提出人数 1人

○提出のあった意見の数 1件

意見	市の考え方
P33 ③小中学校規模・配置の適正化の検討	
<p>適正規模の学校は阿久根小のみで、過小規模校が5校ある。文章にある通り、「検討は喫緊の課題」としながら方向性が記載されていない。</p> <p>判断の先延ばしを続ける要因と思われる。</p> <p>「過小規模校の解消に向けて進めていく」など、本計画には方向性を明言して実行に向ける必要が思う。</p> <p>実行については小規模校、適正規模校を巻き込んでの適正化が必要と考えるが、まず、着手していくために明言は必要と思う。</p>	<p>貴重な御意見ありがとうございます。</p> <p>本市では、今後も児童生徒の減少が続き、学校の小規模化もさらに進むことが予測されます。このため、学校の統廃合は避けて通れない課題となっています。ただ、現時点では、具体的な統廃合の計画は立っていない状況であることから、本計画は、現状の規模や配置を維持すると仮定した場合の検討を行っています。</p> <p>本計画については、今後の統廃合を念頭に入れ、計画期間を10年と定めており、後期の5年間では統廃合の検討状況を考慮した見直しを行います。また仮に学校統廃合があっても前期の5年間に影響が出ないような施設整備を計画しています。</p>